

西郷村の人口及世帯数  
(43.11.1現在)

世帯数	2,195
人口	10,657
男	女
5,239	5,418



発行日 昭和43年11月28日

発行所  
西郷村役場  
(電話磐城熊倉)  
1番・2番・7番  
編集発行人  
企画部長 坂井周平  
印刷所  
ワタベ印刷所

# 踏み出そう101年への第一歩

## 西郷村明治百年記念



### 文化功労賞の栄誉

### 石彫家の鈴木定吉氏に

明治百年記念行事は十一月二日から四日にかけて、特集号でお知らせした計画にもとづいて盛大に行なわれました。ここにその結果の一部をお知らせして、今後の各方面の発展の資にいたしたいと存じます。

四十三年度の西郷村文化功労者として、原中の石彫家鈴木定吉氏が選ばれ、十一月四日、明治百年記念式典の席上で表彰されました。氏は当初画家として活動されましたが、三十才頃より、石材彫刻、木彫等を専門にして、現在まで四十年間に多くの名作を世に出しておられます。

昭和三年御大典記念博覧会に馬の彫刻一位入選、南湖神社の松平楽翁公像、川越市泉福寺の牛王観音像、白石市慈母観音像、原中の交通安全観音像等は皆氏の制作されたものです。

氏は特に仏像彫刻を得意とし、書画もこれによくします。多くの作品が世に広められ、各所に献納された仏像等は、高く評価されています。又村内にも氏の作

写真は西一中体育館における明治百年記念式典の状況

品が多く愛蔵されております。近年諸外国に輸出された作品も五〇〇点に及んでいます。昭和四十年にはNHKテレビによって世に紹介され、視聴者に深い感銘を与えました。

現在、有志と共に組織した白河美術協会の中心的存在で、戦後は西郷文化協会の設立指導に努力されておられます。

又氏の作品によつて彫材としての白河石が世に認められ、その評価を高めたことも氏の大きな功績です。このようなことは、一般村民には案外知られておらず、ひっそりとしてご自分の道に精進せられた尊い存在です。

今回文化功労賞が授与されたことはまことに意義深いことで、みんなでその栄誉をたたえましょう。

#### ◎水稲坪刈大会講評

西白河農業改良普及所長

小浜 常次

四・六米づくり運動第三年目を迎えた本年の稲作は苗代期後半の低温から引続き、本田初期の不順天候、登熟期の低温と、稲作全期間を通じて、気象的には恵まれた年ではなかつたが、参

加された百点についてみると、この気象条件を克服され、過去の実績以上の成績を挙げたものが多かつたことは、栽培技術向上の現われであり、敬意を表する次第です。しかし中には、立

地条件からみて、株数、植付本数の少なかつたもの、水管理の不徹底から、水口青立の多かつたもの、多肥に過ぎたため倒伏したものの穂いもちの発生の多かつたもの等も認められました。

もとより冷水がかり田や漏水田、火山灰土壌の多い当村の稲作としては、冷水対策としては、水管理(夜間灌水、昼間止水、間断灌溉、中干)の徹底、客土、床締による漏水防止対策、

珪カル、燐燐増施による地力の増進をはじめ、適地適品種の導入と、単位当り有効穂数の確保、病害虫の適期防除、乾燥法の改善等により、良質産米の安定増収をはかるとともに、共同作業、機械の効率的な使用、除草剤の適期使用による省力化等によつて生産性の向上に努めていただきたいと思

います。(成績順位表は三頁にあります)



# 西郷村文化祭 農作物品評会講評

西白河農業改良普及所長 小 浜 常 次

## ▽野菜の部

野菜類出品は、葉菜類一  
五一点、根菜類九二点、い  
も類七五点、計三一八点で  
した。

いずれも優秀なものが出  
品されていましたが、更に  
栽培の上で改善を加えれば

一層品質の向上を見ること  
ができると思えますので以  
下、改善点を述べてみます

### 一、葉菜の部

(イ)白菜 出品点数が多く良  
いものばかりでしたが、微  
量要素の缺乏しているよう  
なものが見受けられました

(ロ)葱 特に良品が多く、技  
術改良がされていいますが、

一般に不足し易い要素とし  
ては、石灰、苦土、硼素等  
があります。白菜作りは短  
期間に軟かな肉質の地球を  
結球させるため、多肥栽培  
をするのが一般ですが微量  
要素の缺乏を防ぐため苦土  
石灰、BM燐燐等を施し、  
病害虫防除を行なえば更に  
品質の向上をみることで  
あります。

(ハ)ホーレン草 全般に早播  
きで大き過ぎたものが多く  
ありました。収穫目標時期  
を考えて播種期を決定し、

改善点としては一般に病害  
特にサビ病が多いことで  
マンネブダイセン等の散布  
によつて、防除できますの  
で是非試みて下さい。なお  
茎に緑の残つているものが  
ありましたが、収穫の四〇  
日前に、最後の土寄をすれ  
ば全部白くなります。

(ニ)根菜の部  
(イ)人参 出品されたものは  
長根種でしたが、一部に早  
播きに過ぎるものがあり  
中位の大きさで収穫したい  
ものです。

## 明治百年記念式典

### 村長 式辞

本日明治百年を記念して 盟約の中に在りと目された  
祝賀の式典を挙げるに方 吾々の郷土は暫くの間、さ  
り、公私とも御繁忙の折に びしい処遇を受けることに  
も拘わりもせず、来賓を始 になりました。加うるに、諸  
め各位の御参列を賜わり、 外国との海洋交流に便なら  
この式を盛大に取り行ない ざる東北という地勢上の劣  
得ますことは、洵に有難く 位と、積雪寒冷の気象に禍  
げます。 される山根の里吾が西郷村  
は、その開発進展上極めて 外にたくさんの功績者が居  
困難なる状況下に置かれて りますことを忘れるわけに  
いたのであります。吾々の たずして社会公共の為に御  
先人は、この苛酷な条件の 努力なされ乍ら何等報われ  
軸とする近代的国造りに転 ることなく終られた尊い方  
換された意義は洵に深く、 繁栄の為に村民の幸福を希  
その想その行は真に吾が民 い乍ら、努力を積み重ねて  
族の喜びとするところであ りましたのであります。茲  
りました。

然るに、その過程に於て 謝を捧げるものであります  
会津藩を中心とする、武士 明治百年の意義ある年に  
道的正義による抵抗は戊辰 当り、村民の皆様から先覚  
の役となつて現われ、その の事蹟を尋ね、その功を称  
種功労者の顕彰式の外、村

この年を記念して、村民運  
動会、畜産共進会等の行事  
を行ないました。今回は  
只今申し上げました村内各  
幹を思いみるべきでありま  
しょう。

時恰も明治百年の年に方  
り、ここに心を静めて根と  
幹を思いみるべきでありま  
しょう。

昭和四十三年十一月四日  
西郷村長 佐藤 帰一

その為には私達の祖先の  
歩んで来た道を尋ね、努力  
の足跡を尊び、苦しく暗い  
過去も充分省みて、真に美  
わしい未来に生きると共に  
子孫に誤りなき道を遺すべ  
く、本村の将来を展望して  
英知と決断を以つて、進む  
べき時であると思ひます。  
近時特に道路交通の発達  
等により、吾が村を取りま  
ぐ経済立地は著しい変化を  
遂げようとしております。  
これに対応して、農業の  
近代化を促進し、工場の充  
実及び誘致を図り、観光資  
源の高度利用を希い、教育  
文化の発展に更に力を致し  
村民の皆様と共に明るい豊  
かな村造りに邁進すること  
をお誓い申し上げて式辞と  
いたします。

西郷村長 佐藤 帰一

の太い、肉質の固いものが  
ありました。長根種は、六  
月中旬以後に播くようにす  
れば品質の良いものが得ら  
れます。なお線虫防除は必  
ず実施してから作付して下  
さい。

(ロ)大根 非常に優れたも  
のが出品されましたがい  
ずれも漬物用、煮物用として  
適当な品種ですが、貯蔵性  
がなく、年内に入りに  
なるものが多く出ます。今  
後貯蔵性のある都大根等を  
栽培されるようおすすめし  
ます。

三、いも類

(イ)馬令薯は非常に良いもの  
が多数出品されましたが中  
には肌若千難点のあるも  
のが見受けられました。土  
壌に問題があると思われま  
すので、適地の選定に留意  
して下さい。

(ロ)里芋 土寄の方法によつ  
て良否が決定されます。孫  
芋のついていているものが多  
く見受けられましたが、子芋  
のときに早目に土寄を行な  
つて、孫いもの出来るのを  
防いで下さい。又子いもの  
つけ根から腐敗する赤スジ  
腐敗病は、土地の選定に左  
右されます。適地栽培が大  
切なことです。



西郷村文化祭農産物品評会 料理コンクール  
赤ちやんコンクール授賞者名簿 (1.2等のみ)

種類	等級	部落	氏名	種目	等級	部落	氏名
大豆	1	鶴生	菊地 勝子	カリフラワー	2	真船	真船 真
	1	"	高久 徳知	りんご	1	後原	金沢 安子
	2	柏野	加藤 道子	かき	2	"	大塚 巽
	2	追原	金田 敏造	生しいたけ	2	"	金沢 重哉
から大豆	2	長坂	安治 孝行	たばこ	2	下羽太	伊東 サヨ
	2	追原	森 守		2	川谷	榊田 忠良
小豆	1	中羽太	海老名 藤太	食生活改善 コンクール	2	伯母沢	穴沢 正三郎
	2	下羽太	鈴木 忠雄		1	折口原	高根沢 一男
稲株	2	原中	皆川 太重	2	西原	佐久間 千秋	
	2	鶴生	高木 重夫	2	追原	有賀 光男	
大根	2	田土ヶ入	白岩 久雄	2	折口原	佐藤 影忠	
	2	由井ヶ原	白土 貢	2	"	金内 政雄	
ねぎ	1	米村	郷 忠四郎	1	川谷	根本 トシ子	
	2	谷地中	仁平 次雄	1	長坂	安治 トシ子	
午旁	1	柏野	鈴木 丈夫	2	虫笠	白岩 綾恵	
	2	上新田	小林 保弘	2	間の原	小針 成子	
人参	2	川谷	須貝 芳之	2	中原	瀬戸 玲子	
	2	川谷	須貝 芳之	2	川谷	加藤 きみ	
馬鈴薯	1	由井ヶ原	遠田 平治	2	虫笠	白岩 ユキエ	
	2	川谷	今井 澄江	2	上野原	遠藤 ヒデ	
白菜	1	谷地中	鈴木 邦広	1	上新田	鈴木 和彦 (父重信)	
	2	"	鈴木 ノイ	2	虫笠	白岩 公夫 (父征治)	
丸かぶ	2	"	仁平 ハツエ	2	稗返	小榊 弘子 (父勝英)	
	2	谷地中	仁平 ハツエ				

▽果樹の部  
出品点数は、リンゴ二三点、かき四〇点、計六三三点でした。  
(イ)リンゴ 西郷地方のリンゴは、樹令十年前後の若木なので、技術的にも、経営的にも、これからというところまで、この地方にも立派なりんごが生産されるようになったことは、栽培者の

努力と、関係機関の指導の結果として喜ばしいことです。  
今後改善すべき点として 次のようなことを実行してもらいたいと思います。  
(一)病害虫防除について、散布の量と時期の適確な把握が望ましい。  
(二)適量摘果、これからの果実は、中形が要求されて

いますが、あまりにも小果な傾向にあるので適果の時期と量について技術的な研究が必要である。  
(ロ)かきは、自家消費的な考へから放任的栽培をしているもので、形状品質ともに商品としての価値は少なかつた。かきは、大粒のもの

を要求されるので、摘果をすることが望ましい。  
西郷地区は、畑が多く、平坦であり、気象的にも、果樹は適しているのに、今

食生活改善コンクール講評

今回の食生活改善コンクールは、従来実施して来た「お料理コンクール」ではなく、「食生活改善」の趣旨を生かして、日常生活の上で、栄養の向上に実際役立つコンクールにしようとして企画されたものです。そこで、出品者は、規定の用紙に一日の献立表(朝昼夕)を記入して、規定内の経費でできた

後ますます研鑽されて、立派な果樹を生産されるように、表の中から出品する。総合的に審査するコンクールにしました。  
審査方法(採点基準)は次のようです。  
一、バランスのとれた食事であること一五〇点  
二、規定内の経費でできた

昭和43年9月26日実施 参加者100名

順位	住所氏名	品名	畦間 cm	株間 cm	当m <sup>2</sup> 本数	坪当生kg	10a当kg
1	田土ヶ入 植木 嘉重	フジミノリ	33.7	13.3	73.6	3,614	722.0
2	谷地中 仁平 ハツエ	"	31.9	15.3	67.9	3,504	699.8
3	鶴生 高久 義教	"	31.0	12.9	97.0	3,463	961.0
4	下熊 倉 小松 幸作	"	30.3	14.4	75.6	3,394	683.8
5	上羽太 海老名 武雄	"	32.5	14.2	69.3	3,389	677.0
6	長岡田 岡田 仲	"	34.0	13.3	72.9	3,332	662.4
7	下羽太 石井 美知郎	ササニシキ	33.3	12.8	77.6	3,259	656.4
8	上野原 斎藤 幸之助	フジミノリ	30.3	15.2	71.6	3,229	650.4
9	谷地中 鈴木 邦広	"	32.1	14.4	71.3	3,223	640.0
10	追原 森 留男	レイメイ	30.5	15.3	70.6	3,177	634.7

西郷村水稲坪刈大会順位表



